

発明の名称: 歪分布計測システムと 弾性率分布計測システム及びそれらの方法

利用・用途・応用分野

無料開放特許

医療、画像診断、超音波エコー、

目的・課題

血管内に形成された不安定プラークなどの分布の把握や半導体素子の微細構造に関する欠陥検出に不十分で、プラークの内部構造及び不安定性や素子の微小な内部欠陥の有無を詳細に判断することは不可能という課題があった。

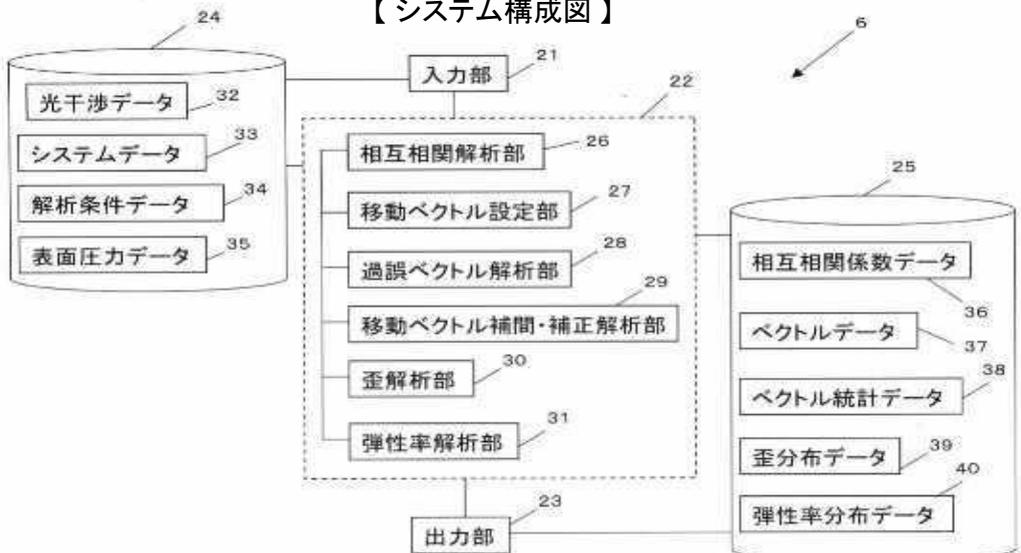
解決ポイント

入力部21、データ格納部24・25、解析部22、出力部23を有して、被測定対象3の圧縮前後の測定データ32から歪分布39を解析する歪分布計測システム6である。

研究概要・アピールポイント

測定データの位置変化に関する相互相関係数を演算し位置変位の選択を行い、移動ベクトルを定め過誤ベクトルの除去を行ない、移動ベクトルの分布を連続化させることでランダムな成分を高い確率で排除し、格段に高い精度を備えた歪分布を出力することが可能という効果を有する。

【システム構成図】



◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp